

松川浦におけるアサリ稚貝の発生・減耗状況

福島県水産試験場 相馬支場

1 部門名

水産業—資源管理—アサリ

2 担当者

岩崎 高資

3 要旨

松川浦におけるアサリ稚貝(殻長15mm未満)の発生・減耗状況を明らかにするために、2013年4～12月に松川浦内の13定点において鋤鎌を用いてアサリ稚貝を採集し、稚貝の分布密度を把握した。

- (1) 2012年11月～2013年7月の稚貝平均密度は、例年通り湾口部付近の定点で高く、西部・南部海域で低かった(図1)。2011年11月～2012年7月の結果と比較すると宇多川河口と川口前で密度が低下し、その他の定点では高くなった。川口前では2013年4月に客土を行ったため、4月以降密度が低下した。
- (2) 稚貝の月別密度の推移を図2に示した。2013年の月別密度は1～4月にかけて高く、7月にかけて急激に減少し、7～8月に低くなった。2012年の月別密度も7月に急激に低下したことから、近年のアサリ着底稚貝の減耗は6～7月にかけて顕著であるものと考えられた。また、9月以降に稚貝密度が増加したことから、2013年級の着底は8～9月に始まったものと考えられた。
- (3) 1997年以降密度調査を継続して実施してきた6定点(和田・川口前・揚汐・瀬方南・地島南・大洲東)における6月～7月の稚貝平均密度の推移を図3に示した。2012年級の密度は247個体/m²と直近5カ年では最も高く、発生水準は中水準と考えられた。

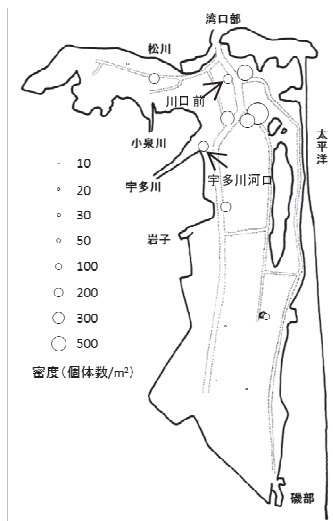


図1 定点別稚貝密度
(2012年11月～2013年7月平均)



図2 稚貝密度の月変化

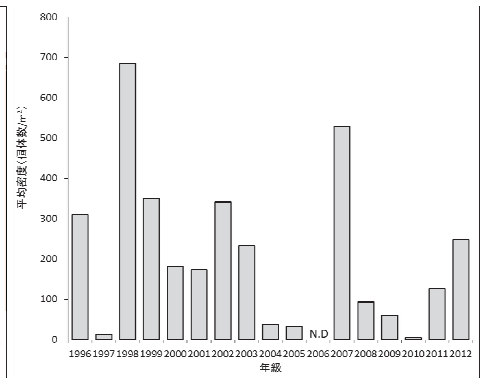


図3 年級別稚貝平均密度

4 成果を得た課題名

- 1 研究期間:
- 2 研究課題名: 松川浦の増養殖の安定化に関する研究
- 3 参考となる成果の区分: 指導参考

5 主な参考文献・資料

- (1) 福島県水産試験場事業概要報告書